

※ 北九州高専生、国際化学五輪に挑戦

北九州高専物質化学工学科二年生の上小沢初馬君と香春幸太郎君は、来年の国際化学オリンピックの出場を目指し、放課後実験の定性分析に余念がない。入学直後、五輪の存在を知ったのがきっかけとか。すでに定性分析や二年生の実験をこなし、現在は超伝導物質の合成に取り組んでいる。上小沢・香春両君は「オリンピックは遥かな道。その前に全国高校化学グランプリを突破しなくてはなりません。高専生が高校生とは違うことを示したい」と決意を語った。

五輪を目指す上小沢君と香春君

